

記念講演~~~~~高齢者を狙った犯罪の防止について ~~~~~
福生警察署生活安全課 北島さん 藤井さん

====振り込め詐欺撲滅====

最初に、ビデオを見ました。
落語家の小遊三師匠解説

「オレオレ詐欺の巻」

実話を元に編集。犯人⇒家庭の固定電話に掛けて来る⇒携帯電話の番号変更を言う⇒後日、助けてくれ！の電話⇒ここで、必ず、子どもに電話を入れて確認すること⇒犯人の手口を知ること⇒家族で、対策を話し合っておくこと⇒行動を起こす前に、事実を確認すること。

「還付金詐欺」

医療費還付がある⇒手続きが必要と ATM に誘い出す⇒そこで、指示され送金してしまうケースが多い。
還付金など、ATM に振り込むことは絶対にありません。役所、金融機関、勤務先、警察等に連絡を

注意点。

- 1、人間の心理をついて来る⇒「私は大丈夫」と思っている、いざ、電話が入ると、パニック状態になる。
- 2、演技により、洗脳される⇒必ず、電話等で、子どもに確認する⇒振り込めというより、直接に受け取りに来る。

特殊詐欺は発生数

都内 8月31日まで、件数 1448件。51億4900万円の被害。年間650億円の被害と言われています。

福生署管内 19件。 6900万円の被害。~~~~3件 犯人逮捕。

注意

管内の発生被害は、全て、「手渡し」で行なわれています。主犯がいて、受取人は、別人。雇われ、指示されて動いています。

三つの大きな誤解

- 1、息子や孫の声くらい判る⇒聞き分けられない筈がないと思ひ込み、9割の被害者が「息子の声くらい判る」「自分だけはだまされない」と、思ひ込んでいました。
- 2、普段からやりとりしているから判る⇒煩雑に、会ったり、電話したり、同居しているからという安心感。
- 3、うちにはお金がないから大丈夫⇒親は、子どものためなら何とか工面を。親心をくすぐられる。

親心スイッチと被害防止==== 「留守番電話」に設定しておく。

犯人の手口に乗らないために

- 1、あわてない。
- 2、事実を確認する。
- 3、直ぐに、お金を振り込まない・渡さない。
- 4、警察に通報する。
- 5、家族や友人に相談する。

「アクションプログラム」として、若い世代へ、注意喚起。親への電話を、進めています。

今回の記念講演は、福生警察署の現場で、「高齢者犯罪被害」に取り組んでおられる方が、日々、直面している事例に基づいてお話をして下さいました。「自分だけは大丈夫」と、安心して居られない程、犯人達の手口が、巧妙になって来ているようです。被害を受けてからでは、遅過ぎます。十分に、こころして、安全な生活を送りたいものです。

また、こんな課題を取り上げて欲しいということがありましたら、連絡をお願いします。
これからも、「有意義な記念講演」を企画していきたいと思ひます。